

## 隠れたサッカーファン

藤井武夫先生（西原允之）

藤井先生は剣道部長であられ漢文の先生であった。

授業の時に、ポケットから上面に小さな穴の空いた竹筒を取り出し、カチャカチャと音を立てて振って出てきた小片にある番号の者を指すので我々は如何することも出来ず、有名であった。

その先生が何時の頃か試合の時に、グラウンドの片隅で黙って見ておられ何も云われずに帰って行かれる。在高間唯一1回の優勝を経験した浦高(旧)の大会の決勝は大雨であったがポストの近くで傘を差して立っておられた。(その頃のサッカーは今程皆に知られ騒がれる人気スポーツではなかった)

1月上旬上井草の大会は四年以下で青山師範と対戦大敗した。フルバックであった私はゴールエリアを囲んで放たれるシュートを殆どヘディングで返し防戦これつとめた。中には鼻水が出るほど強烈なものもあった。

先生の目にはどう映ったかは分からないが私を下宿に呼ばれおほめの言葉を戴き当時の受験雑誌受験旬報を戴くようになった。

話をされたのは初めてで最後であった。

何も云われず雨が降っても来て戴くファン(失礼な言い方かもしれない)こそ本当にありがたいファンである。